

令和2年度 事業報告書 <概要版>

社会福祉法人足利むつみ会

1、社会就労センターきたざと（生活介護事業・就労継続支援事業A型・就労継続支援事業B型）

（1）生活介護事業

生活介護事業では、一人一人に合わせて日常生活上の支援や生産活動の機会等を提供しました。

作業を継続して取り組むことや自ら作業に携わることが難しい利用者の方に対しては、継続的な声かけや作業分担を作ることで、少しずつでも作業に取り組む時間を作れるよう支援を行いました。

一人ひとりの利用者の方の障害特性を踏まえた上での生活面の支援と併せて、令和3年1月から常勤の看護職員の配置により、日々の健康チェックを行う中で、必要に応じてご家族の方と連携をしながら健康面での支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染対策として「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、感染対策物品の整備を行いました。

（2）就労継続支援A型事業

支援業務には、「足利市屋内子ども遊び場（キッズピアあしかが）受託業務」における接客業務・清掃業務、及び「印刷業務（チラシや冊子構成など）」があり、一般就労へ近い就労の場として、一人ひとりが考えて行動できるように支援を行いました。

就業時間も1人ひとり尊重し、自身に合った出勤時間で勤務頂きました。また、新型コロナウイルス感染症の予防の一環で、検温・手洗い・手指消毒・健康観察、行動記録表の記載など、自分自身でできる予防の徹底に努めました。

（3）就労継続支援B型事業

エコリサイクル事業やIT・印刷事業、環境整備事業を大きな軸とし、営業活動を積極的に行うことで、安定した取引先の確保や新規取引先の確保に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標の平均工賃を達成することができませんでした。

また、令和2年9月に「2019年度社会福祉法人助成事業（社会福祉法人清水基金）」の助成により、エコリサイクル事業で使用するパッカー車を、更新整備するとともに、令和2年8月に「2020日本郵便年賀寄付金配分事業」の助成により、平屋作業棟の屋根の設置工事を行いました。

2、セルフ絆（就労移行支援事業・就労定着支援事業・就労継続支援事業B型）

（1）就労移行支援事業

サービス利用中の最終目標を「一般就労」とし、企業に求められる人材になれるよう就労に特化した訓練に取り組んできましたが、近年は定員に満たない利用状況が続き、本サービスを希望する新規の利用者も大きく減少したため、事業の継続が困難であると判断し、令和2年12月31日をもって、本事業を廃止しました。

（2）就労定着支援事業

障害福祉サービスの利用を通して一般就労した方に、職業人としての自立に関する個々の課題や事業主による適正な雇用管理の実施に関する課題等を明確にし、就労が継続されるよう、ご本人は勿論、家族や就労先に対して職場定着を目的に支援を行ってきましたが、就労移行支援事業を廃止することで事業所として一般就労への移行実績がなくなり、本事業のサービスを設置する要件を満たさなくなるため、就労移行支援事業と同様に廃止しました。

（3）就労継続支援B型事業

製パン及びその販売を生産活動の中心とし、自分の仕事に自信を持って働いていただけるよう、各々の担当業務に応じた支援を行い、継続的な就労の機会を提供しました。また、就労移行支援事業および就労定着支援事業の廃止に伴い、令和3年1月1日より定員を10名から20名に増員したと

から、定員に見合った作業量とするため、部品の袋入れや梱包作業などの受託加工作業を増やし、利用者の重度化や高齢化、多様化などに対応可能な作業種を取り入れました。また、新型コロナ感染対策として、「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、サーマルカメラ等感染対策物品の整備を行いました。

3、デアクティビティセンターWIN（生活介護事業）

WINグループ・銀河グループそれぞれの特色を生かした活動・支援を行ってきました。WINグループでは食事・排泄・移動等の日常生活支援を中心に、創作活動や音楽活動・スヌーズレン等の活動を行いました。銀河グループではEMボカシ作りや再生紙活動等の作業的な活動及び楽器演奏・スポーツレクリエーションなどの活動を行いました。両グループ合同での活動も予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、各グループでの活動を中心に行えるよう、活動内容の検討をしながら進めてきました。特に、例年行っていました日帰り旅行については、「ツアーイミテーション」とし、実際に外出しなくても映像や職員の演出により、外出気分を味わえるような行事を計画し、実施しました。また、新型コロナ感染対策として、「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、サーマルカメラ等感染対策物品の整備を行うとともに、厨房機器の内、経年劣化したスチームコンベクション・食器洗浄機等の更新を行いました。

4、セルプみなみ（生活介護事業・就労継続支援事業B型）

（1）生活介護事業

利用者の状況に合わせた食事・排泄等の日常生活上の支援を行うとともに、生産活動を通して自立した日常生活の充実のための支援を行いました。ハンガー仕分け、箱詰め等の生産活動を提供しました。また、新型コロナ感染対策として、「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、感染対策物品の整備を行いました。

（2）就労継続支援B型事業

自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう様々な生産活動を提供し、より高い工賃の支払に努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントの中止等による販売の機会の減少や施設外就労が一部休止するなどにより、目標の平均工賃を達成することができませんでした。

5、グループホーム ドナルド（共同生活援助）

利用者が地域において、共同して自立した日常生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びに共同生活住居においての相談や入浴、排泄又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切に行なうとともに、居宅においてその介護を行う者の疾病やその理由により、障がい児者に緊急的に支援が必要な状況になった場合に、短期間の入所の受入れを行い、入浴、排せつ及び食事の介護やその他の必要な支援を行う「緊急時支援事業（足利市あっしーネット）」を引き続き行いました。また、新型コロナ感染対策として、「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、感染対策物品の整備を行いました。

6、ビタミンクラブ（放課後等デイサービス）

利用者の個性や人格を尊重し、一人一人のニーズに合わせた遊びや活動を通して、日常生活支援、集団生活適応支援等を行い、個々の自立に向けたきめ細かな支援を行いながら、利用者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行いました。

また、新型コロナ感染対策として、「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、感染対策物品の整備を行いました。

7、スマイル（日中一時支援事業）

放課後や長期休暇中等の日中において、活動場所が必要な障害児者を対象としたサービスで、活動する場を提供するとともに、障害児者を持つ家族の就労支援と障害児者を日常的に介護している家族の一時的な

休息支援を行ないました。

8、両毛圏域障害者就業・生活支援センター（就業・生活支援センター）

障害者からの相談に応じ、就業及び日常生活上の問題に関する指導・助言等を行うほか、職場定着促進のため、事業主に対して必要な助言等を行うとともに、関係機関との連携等を図りました。相談支援件数 1,759 件に対し、就職件数 57 件、実習件数 26 件となりました。事業主に対する助言は、支援対象事業所数 128 事業所、1,294 件となりました。

9、足利むつみ会障害者相談支援センター（指定相談事業所）

（1）指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

生活全般に係る相談及びサービス利用計画の作成等に関する業務を行いましたが、指定一般相談支援事業にかかる相談はありませんでした。なお、相談支援体制の強化として、相談支援専門員を 1 名増員し、3 名で指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業として主にサービス利用計画の作成に関する業務及びそれに伴うモニタリングや利用に関する紹介や手配等を行いました。また、新型コロナ感染対策として、「令和 2 年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、感染対策物品の整備を行いました。

（2）基幹相談支援事業

足利市からの委託を受けて、市から派遣されたセンター長 1 名と市内 3 法人 4 名の相談支援専門員により、相談業務（生活全般に係る相談及びサービス利用における相談等）、自立支援協議会の運営、市内の各相談支援事業所のスーパーバイザーとしての業務を行うとともに、地域生活支援拠点事業における緊急短期入所事業（足利市アッシーネット）の運営を行いました。また、事例検討会を開催し困難事例の検討を行うとともに、特別支援学校の進路相談会や個別ケースの対応支援や各事業所のケア会議、地区の民生委員の会議や包括支援センターの会議等に参加協力し、相談支援の向上に努めました。

10、特別養護老人ホーム青空（介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業・通所介護事業・居宅介護支援事業・障害短期入所事業）

（1）介護老人福祉施設

職員一人一人の体調管理、感染予防の徹底とともに、ご利用者、ご家族、出入り業者などの理解と協力により、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の徹底を図り、外部からの感染を防ぐことができました。面会の方法なども、感染の拡大状況に合わせて、工夫して対応しましたが、面会機会が大きく減少したことにより、これを補うために、入居者の体調変化や様子などを細めにご家族へ連絡することで、安心して頂けるよう努めました。稼働については、空床期間の短縮を図るため、待機者の状況把握に努め、早期に入居検討委員会を開催するよう取り組みました。また、新型コロナ感染対策として、「令和 2 年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、サーマルカメラ等感染対策物品の整備を行いました。

（2）短期入所生活介護事業

コロナ禍での利用控えにならないよう、また、感染リスクの抑制のための長期利用など、ご本人やご家族の意向を考慮した受け入れ調整を行い、利用の前日に体調確認の連絡を入れるなど対策をとりました。また、利用時の感染対策を徹底しながら、快適に過ごせる生活環境の維持に配慮するとともに、居宅介護支援事業所との連絡を密に取り、サービス提供時の様子やご本人、ご家族の意向などを報告することに努めました。また、新型コロナ感染対策として、「令和 2 年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、感染対策物品の整備を行いました。

（3）通所介護事業

新型コロナ感染対策として、送迎時の体調確認、手洗い・手指消毒、マスク着用の徹底など、外部からの感染症を防止するよう努めるとともに、認知症対応型事業所として、認知症の方が安心して過ごせるよう、声掛けや環境づくりに配慮しました。なお、地域との連携では制限される中ではありましたが、

地域の住民との情報交換や行事への参加などに努めました。また、新型コロナ感染対策では、「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、サーマルカメラ等感染対策物品の整備を行いました。

(4) 居宅介護支援事業

ご利用者やご家族の意向、生活状況、介護負担などを考慮し、最適なサービス事業に繋がられるよう居宅サービス計画等の支援に努めました。また、サービスの提供状況から心身の状態変化を確認し、適切なサービスの量や質に配慮し、居宅サービス計画等の調整を行うとともに、地域との連携を図りながら支援が必要な方に適切なサービスが届くよう努めました。

(5) 障害短期入所事業

新型コロナ感染対策の徹底を図るため、受け入れ時の体調確認及び利用中の体調管理、手洗い、手指消毒、マスクの着用、アクリルパーテーションの使用などを実践し、細心の注意を払い感染予防に取り組むとともに、ご利用者が快適に過ごせるように居室環境を整え、安心、安全なサービス提供に努めました。

1 1、ふくい保育園（保育所）

普通の保育はもとより、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、延長保育、乳児保育、すこやか保育、子育て相談及び地域との交流事業等を実施し、積極的に取り組み、大過なく事業を実施することが出来ました。しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、世の中が大きく変わりました。保護者会の行事や、地域との交流、近隣小学校や隣接する特別養護老人ホーム青空との交流等の事業も縮小、又は中止せざるをえない状況でした。その中においても、感染防止対策を徹底し、「できることをできる範囲で工夫して」を心がけ、保育を進めることができました。保育園に入園を希望する児童数も増加し、多様化した保育ニーズに対応しながら保護者への子育て支援の充実にも努め、子育てに優しい保育園として取り組みました。

感染拡大防止のために、手洗い・うがいの励行、手指の消毒、毎日の検温、園内外の消毒の徹底を心がけ行いました。また、行事際には、参加者の健康状態の把握及び人数制限を設け、時間短縮や3密を避けるよう実施しました。

なお、新型コロナ感染対策として、「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し、サーマルカメラ等感染対策物品の整備を行いました。

1 2、キッズピアあしかが・子ども映像メディアアート

(1) キッズピアあしかが

子どもと保護者が安心して、一緒に、楽しく、自由に遊べ、何度も利用したくなるような楽しい時間を提供することを可能とし、幼少期からの運動機能及び体力の向上に寄与するとともに、子育て世代への交流の場の提供・交流促進、子育てに関する相談・援助、地域の子育て関連の情報提供などを実施しました。さらに、運営の一部を障害福祉サービス事業所に委託し、障害者が地域の中で一般の方とふれあいながら生き生きと働く場を提供することができ、障害者が地域社会の中で自然に社会参画できるようノーマライゼーションの推進にも努めました。なお、イベントの開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止としました。

また、足利市改修工事等補助金の交付を受け、遊び場の受付周辺及びベビーコーナー等のリニューアル改修工事、感染症対策工事及び備品等の整備等を令和3年1月12日から1月31日の期間に実施するとともに、「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」を活用し、サーマルカメラを整備しました。

(2) 子ども映像メディアアート

キッズピアあしかがに併設し、キッズピアあしかがを利用する子どもの更なるツールとして、子どもが楽しみながら、学びや遊びができる映像体験型プログラムを展開し、幼少期から映像やメディアアートに関わることで次世代を担う子どもの育成にも努めるとともに、足利市が推進する映像のまちとしての機運が高まるよう努めました。

なお、イベントの開催については、キッズピアあしかが同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。